

経営比較分析表（令和6年度決算）

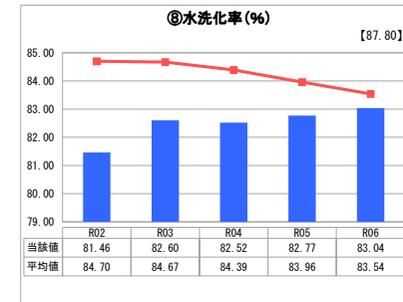
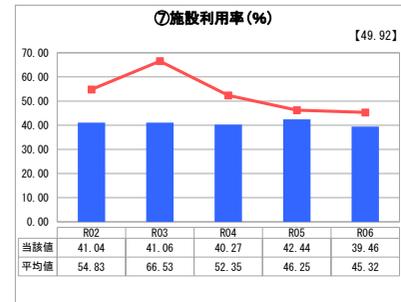
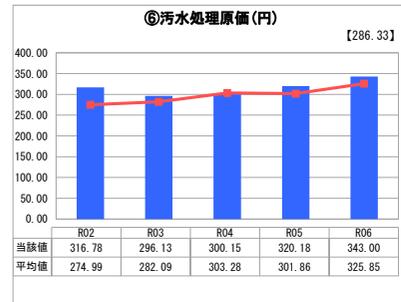
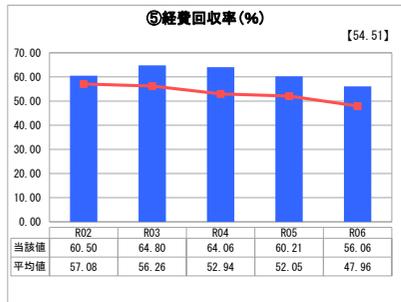
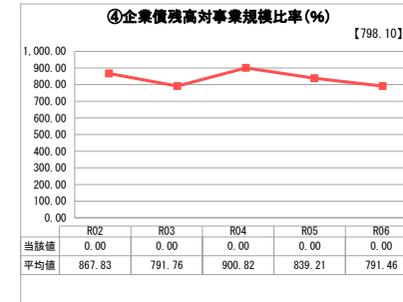
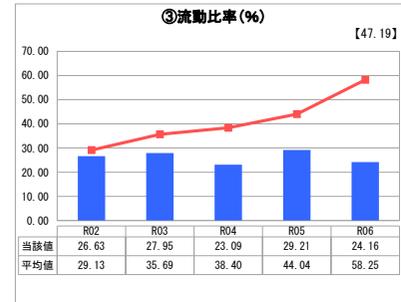
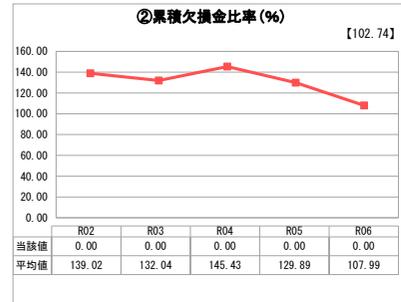
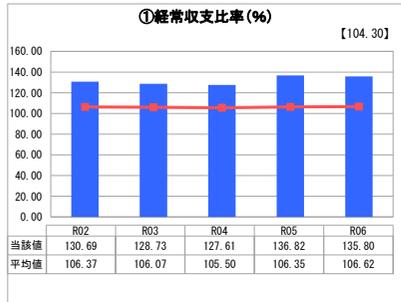
佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	63.35	18.21	101.07	4,180

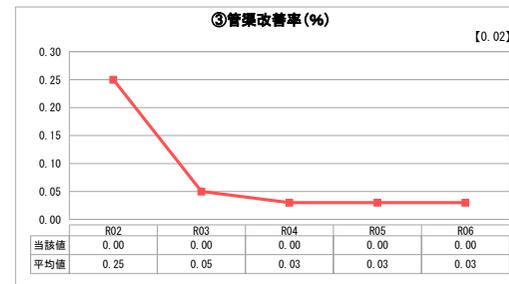
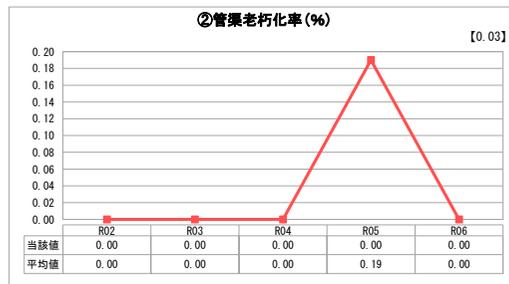
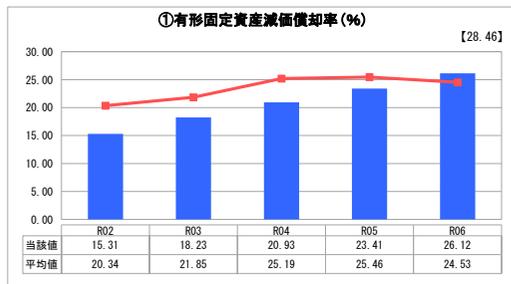
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,972	195.40	240.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,497	5.34	1,591.20

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・「経常収支比率」は、100を超え全国及び類似団体平均値を大きく上回っているが、基準外繰入金に依るところが大きい状態である。

・「累積欠損金比率」は、0を継続している状態である。

・「流動比率」は、全国及び類似団体平均値を大きく下回っている。要因は、流動負債の8割を企業債償還金で占めていることにある。今後の償還金は、年々減少傾向にあり、徐々にではあるが、流動比率は増加していく見込みである。

・「経費回収率」は、人件費及び物価上昇の影響により前年度より4ポイント低下している。全国及び類似団体平均値と比較すると、ほぼ同程度で推移している。

・「汚水処理原価」は、全国及び類似団体平均値より上回っており、施設統等の検討を行い経費削減の必要がある。

・「施設利用率」は、全国及び類似団体平均値を下回り50%未満である。区域内人口の減少が見込まれることから、施設統等の検討が必要である。

・「水洗化率」は、前年度比較で微増となっているものの、これは流入人口により相対的に接続人口の割合が増加したものである。

2. 老朽化の状況について

・当市の農業集落排水事業は、平成11年度から順次供用を開始しており。市内8か所の処理施設は供用開始後25年～35年を経過している。

・「有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値より若干高くなっている。今後は、維持管理適正化計画を基に計画的な機器更新を行うことで長寿命化を図る。

・「管渠老朽化率」及び「管渠改善率」は、管渠の耐用年数が50年であることから、未だ改修に至っておらず、ともに0である。

全体総括

・事業の健全経営を継続していくため、令和7年度に改定した経営戦略に基づき、長期的な視点での経営判断を定期的に行っていく必要がある。

・今後の課題としては、流動比率の低さが懸念材料であり、短期的な資金繰りの安定化が必要である。また、施設利用率の向上が経営改善の鍵となるため、施設の処理能力や処理汚水量の推移を勘案しながら、施設の統廃合等に取り組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。